

聖グレゴリオの家 活動支援
チャリティーコンサート

悠久のしらべ

ホルン古野淳 & ハープ奥田恭子

[Programme]

デュヴェルノワ：ノクターンNo.2

ヘンデル：オン・ブラ・マイフ

グリエール：即興曲

J.シンガー：ホルンとハープのための組曲

グリンカ：北方の星

R.クイクター：優しい歌声は消えても音楽は

日本歌曲：夏は来ぬ

他

特別出演



古野淳 (ホルン)

前田ヒロミツ (テノール)

奥田恭子 (ハープ)

2021年6月5日(土) 15:00 開演 (14:30 開場) 入場料：3,000円

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所 聖堂

〈感染予防対策について：入場の際はマスクの着用、及び検温のご協力・手の消毒をお願いします。〉

●ご予約・お問い合わせ：聖グレゴリオの家●

TEL：042-474-8915 FAX：042-474-8832

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-7-12

ホームページ：<http://st-gregorio.or.jp>

協力：ハーブルーサ / 企画：ペガサス音楽工房

●ライブ配信チケット●

1,000円 (14日間ご視聴いただけます！)

ライブ配信のチケットの購入はこちらから

<https://twitcasting.tv/c/liveconnection/shopcart/63755>



— 聖グレゴリオの家 —

宗教学人 聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所は、フランシスコ会士の故ゲレオン・ゴールドマン神父 (Gereon Goldmann OFM, 1916-2003) によって、1979年に設立された、キリスト教音楽の学び舎です。

聖グレゴリオの家では、グレゴリオ聖歌をはじめ、さまざまな時代の宗教音楽と合唱音楽、オルガン音楽、古楽器演奏、ピアノ音楽などを、一流の講師陣の下で学ぶことができます。また、1980年に開設された「教会音楽科」と「古楽科(現・一般音楽科)」以来3学科目となる「臨床音楽セラピスト養成科」を2019年4月に設置、専門的な音楽療法の学びの場も併せて提供されることとなりました。

教育とともに、祈りの実践も、聖グレゴリオの家の活動の重要な柱です。

毎日曜日、午前10時30分からは、グレゴリオ聖歌の奉唱によるミサ(聖餐式)が祝われます。

聖グレゴリオの家は、日本で唯一、年間を通して典礼の中でネウマ譜に基づくグレゴリオ聖歌が歌われている機関としても知られ、聖グレゴリオの家聖歌隊「カペラ・グレゴリアーナ」がグレゴリオ聖歌奉唱の任にあたっています。聖グレゴリオの家のミサや聖務日課などの典礼にはどなたでもご参加いただけます。

— 聖グレゴリオの家 賛助会 —

私たちは、聖グレゴリオの家が、宗教音楽の研究、教育、祈りを中心とする活動を通じて、日本に於ける宗教音楽への理解を深め、その普及を通じ福音を届ける、国内に類を見ない貴重な宗教音楽研究機関だと考えております。省みて、この研究所の意義深い活動は、故ゲレオン神父の長年に亘る尽力と、神父の故国ドイツ・ケルン大司教区からの援助をはじめ、ヨーロッパ各国の多くの方々からの援助と祈りにより支えられて参りました。

しかしながらゲレオン神父の帰天と援助して頂いた方々の高齢化、世代交代に伴い、その支援は必然的に細りつつあります。海外の支援に頼るのではなく日本社会の中で聖グレゴリオの家の活動を支えていくために賛助会は2009年に発足致しました。

《プロフィール》

古野淳 (ホルン)

福岡県出身。東京音楽大学首席卒業および同大学研究科修了、ロシア国立サンクト・ペテルブルク文化芸術大学研修科修了。故・安原正幸氏(N響)、A.スホルマー氏(レニングラード響)、中野行倫氏(九響)に師事。1980年、第49回日本音楽コンクール金管楽器部門入選、ホルン唯一のファイナリスト。84年、ワイマール国際音楽セミナーにてペーター・ダム氏に師事。88年、宝塚ベガホールにて初のソロ・リサイタルを開催。90年、ソロCD「ジャストユニーク1990」をリリース。92年F.ヒダシュのホルン協奏曲(第1番)を日本初演。97年、A.ゲーディケのホルン協奏曲を日本初演。2014年、セカンド・ソロCD「悠久のペテル」をリリース、第52回日本レコードアカデミー賞受賞。2016年、郷里・福岡に於いて2回に渡るソロ・リサイタルを開催。現在、東京フィルハーモニー交響楽団ホルン奏者、日本ホルン協会会員、さいたまホルンの会会員。

奥田恭子 (ハープ)

武蔵野音楽大学卒業。モスクワで行われた第3回Vela Dulova国際ハープコンテスト第1位。第21回日本ハープコンクールプロフェッショナル部門第1位。アジアハープフェスティバル(香港)、Vela Dulova国際ハープフェスティバル(モスクワ)、リオデジャネイロ国際ハープフェスティバル、国際ハープコンGRESS(カナダ)などに招待され演奏。青山ハープ主催によるリサイタルを行う。アメリカンウィンドシンフォニーオーケストラや、ソルノク市立交響楽団などとハープコンチェルトを共演。わたじん楽器(新潟)講師。ソロ、室内楽、オーケストラなどでの演奏活動の他、ハープデュオ「レ・コロック」では、ピアノカ、マラカスなども用いながらハープの色々な可能性を追求している。2011年に起きた東日本大震災直後からチャリティーコンサートを企画し、定期的に行っている。
ハープ猿のブログ <http://ameblo.jp/harp-kyoko>

● 特別出演：前田ヒロミツ (テノール)

《プロフィール》

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業、ロンドン英国王立音楽院大学院演奏ディプロマコース修了。ヨーロッパ各地においてコンサートや宗教音楽のソリスト、アンサンブルメンバーとして活躍。セント・オーバンス音楽祭では英語歌唱を評価され、英国歌曲コンサート部門最優秀賞を授与される。オペラの舞台ではベンスロー・バロックオペラ、ハムステッド・ガーデンオペラ等に出演。コンサートの分野では数々の歌曲リサイタルにて好評を博す。特に英国歌曲の歌唱には定評があり、2015年、COO-RECORDSよりアルバム「西から吹く風」をリリース。クラシカルクロスオーバーをはじめ様々なジャンルに活躍の場を拡げている。